

報告書の全体像

第1章：検討の背景

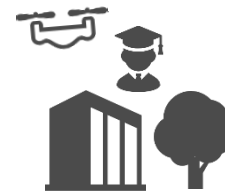
- Society 5.0 for SDGsは、4つのメガトレンドをチャンスに変え、経済成長・課題解決を図るコンセプト
- その実現には、企業や大学をはじめ課題解決イノベーションを推進する多様な主体に中長期の安定的な資金が向かい、イノベーション・エコシステム自体が自律的に進化していくことが不可欠
- そこで、現在、グローバルに拡大するESG投資の動きを捉え、それを一層進化させて課題解決イノベーションへの投資を加速し、Society 5.0の実現、そしてSDGsの迅速かつ確実な達成を図る

第2章：Society 5.0の理解の現状とその向上策

- | 目的 | Society 5.0の理解の現状を探り、その向上策を考える |
|----|---|
| 手法 | <ul style="list-style-type: none"> • 企業・投資家向けアンケート • 同アンケート+自然言語処理 • 3者による議論 等 |
| 結果 | <ul style="list-style-type: none"> • Society 5.0は、ESG/SDGsと比べて認知度が低い • Society 5.0をESG投資に加えることで、高リターンや課題解決の対象の拡大など、様々な効果をもたらす • Society 5.0の認知・理解の向上に資するフレーズの特定 • 捉えるべき課題、社会実装を期待する技術の特定 • Society 5.0の認知・理解の向上に向けた施策の提示 |

第3章：経済効果・社会的効果

- | 目的 | Society 5.0が実現した場合の経済効果や社会的効果を試算し、そのメリットを明らかにする | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------------|----------|------|-------------|------|-----------|------|----------|------|----------|------|
| 手法 | 野村(2020)* (Society 5.0に資する技術を特定し、経済モデルに導入) による試算 | | | | | | | | | | | | |
| 結果 | <ul style="list-style-type: none"> • 主な産業分野の成長機会の提示 • 全ての技術が社会実装された場合、経済全体で250兆円の成長機会（名目GDPは900兆円）が創出される試算 <table border="1"> <thead> <tr> <th>産業分野（抜粋）</th> <th>成長機会（2030年）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>次世代ヘルスケア</td> <td>36.2</td> </tr> <tr> <td>ものづくりのデジタル化</td> <td>28.5</td> </tr> <tr> <td>スマートモビリティ</td> <td>21.3</td> </tr> <tr> <td>スマートリビング</td> <td>18.9</td> </tr> <tr> <td>次世代エネルギー</td> <td>19.3</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> • Society 5.0実現に必要な累積投資額は15年間で844兆円 | 産業分野（抜粋） | 成長機会（2030年） | 次世代ヘルスケア | 36.2 | ものづくりのデジタル化 | 28.5 | スマートモビリティ | 21.3 | スマートリビング | 18.9 | 次世代エネルギー | 19.3 |
| 産業分野（抜粋） | 成長機会（2030年） | | | | | | | | | | | | |
| 次世代ヘルスケア | 36.2 | | | | | | | | | | | | |
| ものづくりのデジタル化 | 28.5 | | | | | | | | | | | | |
| スマートモビリティ | 21.3 | | | | | | | | | | | | |
| スマートリビング | 18.9 | | | | | | | | | | | | |
| 次世代エネルギー | 19.3 | | | | | | | | | | | | |



Society 5.0推進
企業・大学等



Society 5.0

主に社会への正の影響、
企業の中長期的な成長に着目

第4章：Society 5.0推進企業の情報開示の方向性

- | 目的 | Society 5.0に取り組む企業の情報開示の方向性を探る |
|----|---|
| 手法 | <p>企業・投資家アンケート+自然言語処理</p> <ul style="list-style-type: none"> • ①企業から長期ビジョン等を収集し、②それに対する投資家の評価も収集 • ①、②を自然言語処理し、投資家が求める長期ビジョン等の内容や、表現方法を抽出 • 捉えるべきメガトレンドとして、特にスマートな生活、人口構造、気候変動等が上位 • 投資家の高評価を得た企業の長期ビジョンに含まれる3つの要素 <ul style="list-style-type: none"> ① 人を起点とする事業展開 ② グローバル課題の解決 ③ 新たな市場の創出 • Society 5.0実現に向けて企業に求められるアクションプランを整理 |
| 結果 | |

第5章：投資環境の整備

- | 目的 | Society 5.0実現に向けた投資の環境整備の具体案を探る |
|----|---|
| 手法 | <ul style="list-style-type: none"> • 3者による議論 等 <p><u>投資環境整備に向けた取り組み例</u>
各主体の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> • 資金調達者は、統合報告書等へのSociety 5.0の盛り込み、プロジェクトの形成の推進等 • 資金提供者は、Society 5.0の投資原則等への適用 等 <p>大学・スタートアップへの投資促進に向けた具体案</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大学は、Society 5.0に資する技術の特定 等 • 投資家などのスタートアップの社会的意義の理解浸透 等 <p>Society 5.0に関する投資手法の具体案</p> <ul style="list-style-type: none"> • メガトレンド指数やDX指標・ESG指標の統合運用等 |
| 結果 | |

ESG投資の進化

ESG



投資家

(主に社会への負の影響、リスク低減に着目)

SRI

(主に倫理規範の遵守に着目)

アクションプラン

- 経団連・東京大学・GPIFの3者は、Society 5.0 for SDGsへのコミットメントを示すとともに、その実現に向けた具体策として、Society 5.0に関するプロジェクト形成の推進や、エンゲージメントの推進、実現に向けた社会システムの形成などを図る。

*野村(2020)は、21政策研究所研究主幹/慶應義塾大学教授の野村浩二氏の報告書「Society 5.0 for SDGs - 創造する未来の経済評価」